



# 山口としや 通信 第55号

## 4月からの議員報酬アップに反対

12月議会に議員報酬増額の議案が議会から出されましたが、反対しました。

理由は、2月の選挙の争点になっておらず、市民の皆さまの明確な意思表示がないこと、市長が開催した「報酬審議会」の答申が月額 3.8 万円増に対して、その答申に従わず、月額 8.2 万円増としたことです。

議員は 2 元代表制の下、市民が納めた税金の使い道を審議し決定しています。

しかし、議員の報酬については、議員だけで審議し決定すべきではないと考えます。市民のチェックが必要です。他自治体では選挙や市民の代表でつくる「報酬審議会」でチェックを受け、議員報酬を決定しています。今回はそのどちらも受けておらず、反対しましたが、力及ばず賛成多数で可決されてしまいました。大変残念です。



超タカ派の高市政権の誕生で、憲法を無視し、武力行使できる体制づくりが進むことに、危機感を感じています。写真は 11 月 30 日、白山市役所前にて

### 2025年12月議会報告

## 外国人住民の自転車ヘルメットの着用を勧めては

(質問) 技能実習生の外国人住民が自転車通勤をしているが、ヘルメットを着用していない。購入助成制度もあるので、受入企業や監理団体と連携して、ヘルメット購入を勧めては。

→ (市民生活部長) ヘルメット購入助成については、着用が努力義務化された 23 年 4 月から対象を全年齢に拡大した。3 年が経過し、周知がすすんだことを見込み 3 月で終了する予定としている。

技能実習生はヘルメットをかぶる習慣のない国から来日している人が多いため、23 年から工業団地事務局長連絡協議会を通じて助成事業の周知を依頼し、これまで 36

人の実習生に対し助成を行った。今後は、受入企業や監理団体との連携を強化して、安全対策についての協力を継続的にお願いしていく。

(質問) 外国人住民約 2000 人に対し 36 人は少なく感じる。交通マナー向上も含めヘルメット着用を求める市民の声がある。助成が 3 月までなので、3 月末までにしっかりと取り組めないか。

→ (市民生活部長) 後 3 ヶ月ほどあるので、受け入れ企業に働きかけたい。また、ごみの分別についての講座は実施しているので交通安全の教室も開いていきたい。

実習生の自転車通勤マナーが悪く、危険だという声を市民の方からいただきました。調べてみたところ、ヘルメット助成制度が十分に活用されていませんでした。慣れない異国の地で頑張っている実習生には安全に生活してほしいものです。

## 白峰・桑島地区の流雪溝、ギャンブル依存症、埋蔵文化財センターについて

（質問）白峰・桑島地区の流雪溝は、建設から50年以上が経過し、経年劣化が進み漏水も目立ってきている。しっかりと予算を確保して、数年内に補修が完了するよう再整備計画を作成しては。

→（市長）雪深い地域にとって生活する上でなくてはならない重要インフラと認識している。しかし、議員ご指摘の通り漏水や蓋板の破損が散見される状況である。

今年度から国の交付金を活用し、白峰地区の漏水の著しい箇所から調査を進めており、来年度から長寿命化に向けた修繕を実施する計画としている。桑島地区においても国の交付金の活用など財源確保を行いながら計画的な対策が必要と考えている。

延長が長いので、優先順位をつけ、必要に応じて中期計画を見直し、長寿命化を図っていききたい。

（質問）改修終了の目処は。

→（建設部長）流雪溝は全長約7kmあり、今後調査した上で、具体的な計画を見直していききたい。完了について、明確な判断はできない。

（質問）昨年9月会議でギャンブル依存症の啓発について質問したところ、高校や大学に出向いてギャンブル依存症の啓発をおこなうとの答弁であった。どのような取り組みを行ったのか。

→（健康福祉部長）市内公立高校3校及び金城大学に出向き、ギャンブル依存症の相談窓口やギャンブル依存症予防に関する資料等で相談担当教員などに啓発を行ってきた。その際、ギャンブル依存症に関する予防教育について、実施状況をお聞きした。

（質問）成果は。

→（健康福祉部長）持参した資料を校内の会議等に提示したいという前向きな声もあった。ギャンブル依存症の相談窓口をはっきりと示すことができ、学校との連携の第一歩となったと考えている。

（質問）今後も連携する必要があるのでは。

→（健康福祉部長）今後も連携が必要と考えており、国・県からの新たな情報が示された際には情報発信に努めていきたい。

（質問）土地開発の際、遺跡が出てくることが多く、遺跡の発掘調査をしないと開発ができないことから、市埋蔵文化財センターは重要な施設だが、築45年が経過し、狭く廊下にまで出土品があふれており、耐震基準も満たしていない。



白山町遺跡の説明会の様子

そこで、徳光町にある閉鎖したシーサイド松任に移転しては。

シーサイド松任は御手洗地区の2次避難施設として維持しているが、新築予定の御手洗コミュニティセンターが完成した際には2次避難施設から外れ、その後の利活用の予定はないとのこと。活用する部分だけの修繕で済み、安価に移転できるのでは。

→（観光文化スポーツ部長）ご指摘の通り、老朽化が進み、現在も区画整理事業や工業団地造成事業などの開発に伴う発掘調査が続き、出土品も年々増加しているため、整理作業や収蔵スペースの確保に苦心している。シーサイド松任については、耐震基準も満たしており、建物の規模も現在の3倍の延べ床面積があるが、既存施設の有効活

用も含め、幅広い選択肢の一つとして検討していききたい。

（質問）既存施設の有効活用や複合化を考える際には、担当課だけでは難しい。今年設置した行政経営課で一元的に行っては。

→（総務部長）公共施設の用途については、行政経営課が鋭意調査聞き取りを行っている。埋蔵文化財センターの今後についても現在担当課でやっているが、全体を見る上でも行政経営課でも検討していききたい。



白峰・桑島地区の流雪溝はなくてはならないインフラです。市はその認識の下、しっかりと再整備を行うとのことです。年数はかかりますが、少しでも早く完了するよう取り組みます。

## 白山ろくの観光振興について問う

（質問）白山白川郷ホワイトロードの親谷の湯付近が落石により、立ち入り禁止となっている。いつごろ立ち入れるか。

→（観光文化スポーツ部長）国において、現地調査が終了しており、対策に向けて検討中と聞いている。国の石川森林管理署による対策が終了次第、全面開放したい。

（質問）親谷の湯の少し先に噴泉塔があるが、認知度が低く、PR不足では。

→（観光文化スポーツ部長）噴泉塔はジオパークの重要な資源の一つ。見学できるので、多くの方々に見学いただけるようPRに努めたい。

（質問）ホワイトロードは27年には全線開通50周年を迎える。周年事業に取り組み、減少傾向にある通行車両の回復に取り組んでは。

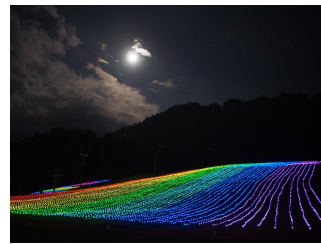
→（観光文化スポーツ部長）11月26日に50周年記念準備委員会を立ちあげ、認知度向上と利用促進、活性化を目指し、白川村をはじめ地元関係団体と連携しながら、事業の企画立案・準備を進めている。

また、林道振興協議会において、広域観光パンフレットの作成を進めており、更なるPRに努めたい。

（質問）白川村と連携して、白川村を訪れる観光客をホワイトロードを使って白山市に誘客できないか。

→（観光文化スポーツ部長）白川村からは高速道路で金沢に向かうのが一般的であるが、白川村とも充分連携を取り合って相互往来について協議していききたい。

（質問）一里野のイルミネーション事業は



虹のような7色の電球がきれいです。

白山開山1300年に合わせて開始し、来年10周年を迎える。近年マンネリ化しているのではないか。LED電球を増やすなど、新たな

魅力アップに努めては。

→（観光文化スポーツ部長）白山一里野温泉観光協会やボランティアの方々のご尽力で、多くの皆さまにご好評ご来場をいただいている。しかし、LED電球の経年劣化、破損が進み、追加購入の必要性を感じている。また、市外・県外の認知度が未だに低いので、SNSでの情報発信の強化を図るとともに、迷路なども検討したい。

（質問）LEDの購入にクラウドファンディングを活用しては。

→（観光文化スポーツ部長）購入についてはクラウドファンディングを含めて検討していききたい。LED電球でどのようなことができるのかどれくらい増やしたいか考えていききたい。



過疎化が進む白山ろくにとって、観光による交流人口の増加はとても重要です。ジオパークを柱にしながら、金沢や白川村を訪れる観光客の誘致に取り組んでいきます。

# 学びの多様化学校の設置を

(質問)「学びの多様化学校」の設置に向けたスケジュールは。また、金沢市のように検討委員会を設置しては。

→(教育長)学びの多様化学校は、学校に行きづらさや不安を抱える児童・生徒に対して、多様な学びの機会を保障することを目的とした学校。

本市でも、不登校の児童生徒が高止まりの傾向にあり、一人一人に応じた学びを保障することは喫緊かつ重要な課題。

今年度、市内プロジェクトチームを立ちあげ、調査研究を進めており、今後は、アンケート調査によるニーズ把握を行うとともに、26年度初めには検討委員会を速やかに設置し、有識者や関係団体から幅広く意見を伺いながら、方向性を定め、26年度前半には設置時期などを示したい。

(質問)昨年今年と小学校のジオ学習交流会を開催した。しかし、ジオパークの認知度は大人が低い現状があるので、児童を集めての交流ではなく、校内で保護者向けに発表する形式に変更しては。

→(教育長)児童が他の地域と比較したり、市全体に興味を広げたりすることに繋がっており、参観した保護者にとってジオパークに興味を持つきっかけになっていることから、各校保護者への幅広い参加の呼びかけを一層行い、今後も当面はこの形での交流会を継続実施していきたい。

(質問)ジオ育を大切にすれば、合同音楽会など他を削るべきでは。

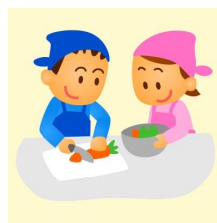
→(教育長)スクラップ・アンド・ビルドの観点は重要。しかし、教育的価値につい

ても大事。教育的価値についての基準をもとに、スクラップ・アンド・ビルドを大事にしたい。

(質問)学校での活動には全て教育的価値があるので、業務量の削減のためにも、何かを減らす必要があるのでは。

→(教育長)校務DXの推進を含め事務の簡素化などを工夫していきたい。

(質問)食育を市の教育の柱の一つとしている。推進のため、栄養士の全校配置を。



→(教育長)限られた財源の中、栄養士の全校配置は困難と考えており、栄養教諭を中心に、栄養士や地域人材を活用するなど、組織的に食育を実践充実させていくことができるよう指導助言していく。

(質問)図書館司書を全校配置した結果、学校図書館が生まれ変わった。栄養士を全校配置することは不足がちな調理員のサポートも含め、食育の推進に繋がるのでは。

→(教育長)うなずける点はあるが、現状でも、組織的な推進体制はとれるのでは。

なお、全国都市教育長協議会での、栄養教諭並びに栄養職員の国の基準を改める要望はこれからもしていく。

(質問)養護教員には短時間勤務制度がなく、定年後フルで働くか、やめるしか選択肢がない。短時間勤務を希望する退職養護教員を雇用し、養護教員が忙しい時期に、学校の要望に応じて派遣しては。

→(教育長)他自治体の先進事例を調査研究していきたい。



白山市はジオ育・食育・読育(よみいく)を教育の柱にしています。長時間労働が続く学校現場を考えると、その他の分野の扱いを軽減することは重要ではないでしょうか。

※市政へのご意見、ご要望をお寄せください。

e-mail : toshiya6537@yahoo.co.jp

TEL : 275-0179

FAX : 275-0924